OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	メタフュシカ　第27号　編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	メタフュシカ. 1996, 27
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/66593
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

編集後記

平成七年より学部に大講座制が取り入れられ、哲学哲学史第一講座、哲学哲学史第二講座、中国哲学、インド哲学、倫理学の五講座が「哲学講座」として発足した。旧講座は、それぞれ、特色のある優れた研究誌を刊行していたが、さらに大講座としての有機的な成果を示すために、まず欧米系の三講座が一つの研究誌に統一し、これまでの研究誌の中で最も歴史のある『カンティアーナ』の号数を引き継ぐことになった。発行母体を「哲学講座」とすることに関して哲学会議が開かれ、いささか危惧の念を抱いていたが、旧中国・インド哲学講座の諸先生から承諾のみならず、刊行に際して適切なアドヴァイスをいただいた。学問的寛容の精神に感謝の意を表したい。

掲載論文について、編集委員は、もちろんのこと、諸先生からのご協力で、実に多彩な力作が集まった。ドイツのボッフム大学のヴァルデンフェルス教授と、中国・北京の中国社会科学院哲学研究所の卞崇道副研究員からの二つの寄稿論文、欧米諸国の哲学研究に目覚しい進境を見せている本学関係の若手研究者五人の論文が揃った。国際色豊かで、しかも若手のエネルギーに満ちた野心的な、多種多彩な思想傾向が、この研究誌の特色となった。

名称に関して、幾つか良案がでて、いろいろと話し合ったが、学的伝統をしっかりと保持していて柔軟性のある名称ということで、メタフュシカと名乗ることになった。しかし、この呼び名に関して正しい発音なのか、この記述でよいのかという議論があり、思案の末、言語文化部の原田裕司助教授に相談したところ、諸文献を探索され、トマス・アクィナスの中世ラテン語記名に由来することを教えていただいた。この紙面を借りて、原田先生にお礼を申し上げたい。

人事異動について、倫理学講座に所属された塚崎智先生が、平成八年三月に定年退官の運びとなり、長年にわたるの先生の文学部における研究・教育・管理運営等に尽くされた功績を記念して先生の退官記念号とした。塚崎先生の懐の深い研究の軌跡が、鷲田先生によって明快に紹介されているので、ご一読いただければと思う。

また加藤憲治助手が平成八年四月から神戸商船大学助教授として栄転された。さらなるご活躍を期待する。

最後になったが、細々とした編集の仕事を手伝ってくれた哲学系資料室の駒山さんに「有難う」を言いたい。（浅野）

メタフュシカ第二七号編集委員

浅野遼二（文学部教授）
山形頼洋（文学部教授）
鷲田清一（文学部教授）

メタフュシカ　第二七号

平成八年一二月二〇日　印刷
平成八年一二月二五日　発行　非売品

編集兼発行者　大阪大学文学部哲学講座
〒五六〇　豊中市待兼山町一―五

印刷所　株式会社　天理時報社
〒六三二　天理市稲葉町八〇番地